

平成25年度事務事業評価調査

整理番号	23	枝番	6
評価担当課	都市整備課 土木係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	郊外地の道路整備(生活道路)			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	12	道路の整備
		基本事業	3	生活道路の整備
		実施計画事業	2	郊外地の道路整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	郊外地の砂利道や防塵処理道路を改良舗装することにより、人と車の空間を確保し、快適な都市環境の創造と基本的なインフラ整備を行う。			
対象(何を又は誰を)	市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	郊外地の砂利道、防塵処理道路を改良舗装する。			
意図(どのような成果を期待しているか)	郊外地における道路の整備を行い安全なまちづくりに寄与する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 (有) 請負 其他()
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	(有) (終期 H28 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (H28年度)
				活動指標	1	整備計画延長	km	目標 0.48
		整備済延長		実績 0.48	0.27	1.54	—	—
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
成果指標	1	計画整備率(舗装率)	%	目標 100	100	100	100	100
		整備率(舗装率)		実績 100	100	100	—	—
	2			目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳	
事業費	170,985	78,092	114,120	52,750	19線道路改良舗装工事 C=61,310千円 L=344.6m	
国道支出金	127,179	48,089	70,161	32,500	19線道路舗装工事 C=45,885千円 L=1191.68m	
地方債	39,600	28,200	40,700	20,000	19線道路改良舗装工事(附帯工事) C=529千円 畦畔造成	
その他	0	0	0	0		
一般財源	4,206	1,803	3,259	250		
人件費	3,304	2,673	1,989	1,989		
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629		
担当職員数	0.50	0.40	0.30	0.30		
総事業費	174,289	80,765	116,109	54,739		
対前年比(%)	—	46	144	47	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	363,102	299,130	75,395	608,208	総事業費(千円)÷整備延長(km)
	活動指標2					
	活動指標3					

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

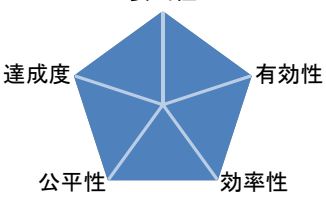
情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。安心安全な市民生活を送るうえで、未整備生活道路の整備は、各町内会からの要望が非常に多く、早期完成が望まれる。
有効性	a	快適な都市環境には道路整備は不可欠である。また、道路整備を行うことにより、ほこりや排水(水たまり)対策が同時に解消され、維持管理にかかる単独事業の経費の軽減につながる。
効率性	a	道路整備の財源は、国庫補助金(交付金)や起債の対象とすることで、効率的な財政計画が図られる。
公平性	a	道路は、公共性のある事業なので、受益者負担の対象とはならない。
達成度	a	活動指標、成果指標を達成している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	今後、予算獲得に多少不安は残るが、現在の進捗状況は順調であり、市民要望に応えるためにも事業を進めていきます。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり。

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	市民の利便性向上や交通安全推進のため、事業の継続が必要。